

ぼうはん栃木

発行

(公社)栃木県防犯協会

栃木県風俗環境浄化協会

宇都宮市今宮4-14-5

電話 028(659)3 0 4 5

FAX 028(659)3 0 8 9



撮影場所／日光市

青少年の非行・被害防止全国強調月間

7月1日(水)～7月31日(金)まで



「防犯マスコット」
©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE



風俗環境浄化協会
シンボルマーク

No. 162号

みんなで つくろう 安心の街

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

七月一日(水)～七月三十一日(金)

毎年七月は、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。

平成二六年中の県内における非行少年の検挙・補導人員は七〇〇人(前年比一五五人減)と五年連続で統計史上最少を更新し、少年非行が多かった昭和六〇年ころの約八分の一となっておりま。

非行少年が大きく減少した要因として、少年警察ボランティアや県市町等の関係機関と協働した健全育成活動、学校と連携した非行防止教室等の取り組みを地道に続けてきた成果が現れたもので、特に万引きや自転車盗などの「犯罪の入り口」となる初発型非行が減少していることが挙げられます。

しかし、少年非行の九割以上を占める刑法犯少年の検挙・補導人員は減少したものの再非行率が三〇%近くあること、「コミュニティサイトに起因する児童売春や児童ポルノなどの性犯罪の被害に遭う少年が後を絶たないなど、依然として厳しい状況にあります。

このため、夏休みを迎え、解放感から少年たちの気が緩みがちになるこの時期に、家庭、学校、地域及び警察が一丸となり、青少年の非

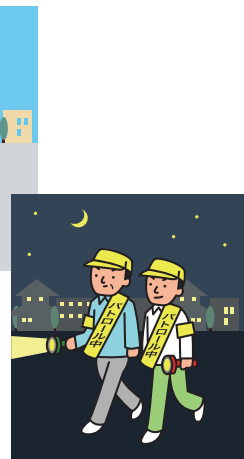
行・被害防止に取り組む必要があります。警察では、「非行少年を生まない社会づくり」を目指し、県民の皆様方と連携して、次の取り組みを推進して参りますので、ご協力をお願いします。

① 広報啓発活動の推進

県民の皆様方が、青少年の非行・被害防止、健全育成及び有害環境の浄化等に取り組んでいけるよう広報啓発を推進します。

② 有害環境浄化活動の推進

青少年を有害情報から守るため、児童が使用する携帯電話・スマートフォン等のフィルタリング導入や家庭での携帯電話等利用のマナー向上を目指します。また、事業者等に対して、未成年者への酒類・たばこ販売等の防止、青少年の深夜立入制限の要請等、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を推進します。



③ 地域ぐるみの補導活動

少年サポートセンターや少年指導委員、学校等関係機関、地域住民と連携し、未成年者の飲酒・喫煙や深夜はいかないなどの不良行為の早期発見、補導活動に努めます。

④ 各種相談の充実強化

少年や保護者からの相談に対応し、適切な対策が講じられるよう学校への出張相談室「あしたのルール」の開設や電話相談「コーナー」やングテレホン」により、少年や保護者が相談しやすい環境づくりを進めます。

○ 水難事故の防止

栃木県内では、平成二六年中に一五人の方が水難事故に遭い、そのうち一〇人が亡くなりました。

七月から八月の時期には、八人の方が水難事故に遭い、そのうち六人の方が亡くなるなど、事故の約半数が夏の時期に集中しています。

昨年の発生傾向を見ると行為別では、川遊び中の事故が約四割、釣り中の事故が約四割を占めており、また場所別では、すべての事故が川で発生しています。



水の事故を防ぐため、次のことを守ってください。

●子どもの水の事故を防ぐため、保護者ができるだけ付き添い、目を離さないようにしましょう。

●「遊泳禁止」の看板がある場所近くでは、川に入らないようにしてください。

●危険な場所で遊んでいる子どもを見かけたら、声を掛けてやめさせましょう。

●胸付長靴で川に入った際に、転倒すると足が浮き上がってしまうためとても危険です。ウエットスーツやライフジャケットを着用してください。

○山岳事故の防止

栃木県内では、平成二六年中に四九人が遭難し、そのうち五人が亡くなりました。

中でも七月から八月の夏山シーズンに、一二人が事故に遭いました。

昨年の発生傾向を見ると、行方別では登山中が九割以上を占めており、また原因別では道迷いが約六割、転倒が約二割を占めています。

山の事故を防ぐため、次のことを守りましょう。

●山の実態や登山ルートを事前に調べ、各自の経験、技術、体力に合った山を選び、無理のない日

程で計画してください。

●登山計画書(日程、ルート、連絡先などを記載、様式は自由)を警察や山岳会等に提出し、家族などにも知らせておいてください。

●単独登山は、怪我をした場合、救助を求めることができない場合があります。できるだけ複数人で登ってください。

●計画にゆとりを持ち、携帯電話や無線機の通信手段をはじめ、充分な装備を携行して日暮れ前には下山してください。

●悪天候の場合には、無理をせず登山を中止して引き返してください。



平成二七年度

栃木県幼稚園・保育園等 防犯交通連絡協議会連合会 定例理事会の開催



栃木県幼稚園・保育園等防犯交通連絡協議会連合会は、去る六月五日(金)、栃木県警察本部において、平成二七年度定例理事会を開催しました。

理事会では、戸田副会長、警察本部の高久生活安全企画課長のあいさつに続いて、防犯協会高橋事務局長から平成二六年度の活動報告と二七年度の活動計画について説明がありました。

その後、警察本部の平野人身安全対策指導官、交通安全企画課亀田課長補佐から幼児の安全対策等についてそれぞれ具体的な事例を交えた説明があり、警察本部のインターネット上に設定した事件・事故発生マップの活用方法が紹介されました。また、理事会後には、本部の通信指令課を見学し、一〇番の受理から緊急配備までの流れなどの説明を受けました。

花の日 幼稚園見学会イベント

六月九日(火)、宇都宮市の「さくらんぼ幼稚園」の園児と先生二八名が栃木県防犯協会を訪れ、職員に対し花束のプレゼントがありました。

同園では、毎年「花の日」に日ごろお世話になっている人たちに花を贈り、感謝の気持ちを表すことにしており、この日の訪問となりました。当協会では、幼児誘拐防止係の樋口指導員が、心をこめて作ったアンパンマンの色紙をプレゼントしました。



平成二七年度
栃木県防犯連絡協議会
連合会定例理事会の開催



栃木県防犯連絡協議会連合会は、去る六月二二日(金)、警察本部会議室にて、平成二七年度定例理事会を開催しました。

理事会では、五十嵐会長、警察本部の池澤生活安全部長のあいさつの後、生活安全企画課の鈴木課長補佐から「県内の治安情勢と地域安全活動の推進状況」について具体的な説明がありました。

また、討議・意見交換では、防犯連絡協議会の活性化等運営方針について活発な意見交換を行い、今後安全で安心な地域づくりを積極的に進めることを確認しました。

誘拐防止巡回指導

防犯協会では、平成五年から県内の幼稚園・保育園等を対象に誘拐防止の巡回指導を実施しています。平成二六年度は、二二三箇所の幼稚園・保育所等で三三、〇三四名の園児や保護者等を対象に実施をし、誘拐防止意識の高揚を図りました。

★指導内容

パネルシアター、映画、腹話術、模擬犯人等を活用し、四つのやくそくを中心に指導しています。

★四つのやくそく

- ひとりでは遊ばない
- 知らない人にはついていかない
- 大きな声で助けを呼ぶ
- だれとどこで遊ぶか家の人に話す



「4つのやくそく」の勉強

地 区 防 だ よ り

■足利市内防犯灯を全灯LED化に

足利市防犯協会では、これまで市内の蛍光灯防犯灯を順次LEDに取替えてきましたが、残り約13,000灯全てを足利市のエスコ事業によりLED化し、犯罪の抑止等による安全で安心な街づくりを目指していきたいと思ひます。工事完了は、本年9月末の予定です。



足利地区防犯協会

■県内3例目の日本財団青パト配備



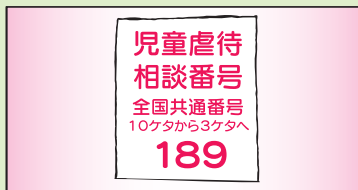
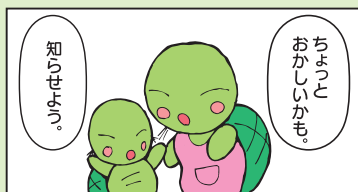
鹿沼警察署管内の南摩地区防犯協会では、地域の子どもを犯罪から守り犯罪を抑止することを目的に、日本財団の助成を受けた青色回転灯装備車を配備しました。

5月27日には、南摩小学校校庭において贈呈式が行われました。安心なまちづくりのため地域イベントや防犯防災広報など地域の活性化にも活用する予定です。

鹿沼地区防犯協会

連載マンガ「カメ子ちゃん」

189(いちはやく)



木村晃代作